



# いばらき県議会だより

No.200

茨城県議会

検索

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>

「いばキラTV」 <http://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



## つくば霞ヶ浦りんりんロード



「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は、桜川市のJR岩瀬駅から潮来市の潮来ICまでの区間と霞ヶ浦を一周する区間を合わせた全長約180kmに及ぶ平坦で走りやすいサイクリングコースです。

コースには、案内看板や注意喚起の路面標示が整備されているのをはじめ、沿線地域では、手ぶらで気軽に楽しめる広域レンタサイクルが行われているほか、空気入れや工具などを備えた自転車サポートステーションなどが随所にあるなど、初心者から上級者まで安全・快適にサイクリングを楽しめる環境が整っています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.ringringroad.com>



### 今定例会の概要

平成二十九年第二回定例会は、六月六日から二十一日まで十六日間の会期で開かれました。

議案は、議員から「日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける被ばく事故に係る被害への対応及び原子力安全対策の充実・強化を求める意見書」が、知事から「りんりんスクエア土浦の設置及び管理に関する条例」、「茨城県海外対象医師研修修習金貸与条例」などが提出されました。

一般質問は、科学技術の振興、県内工業団地の売れ残りの責任、保有土地問題と将来負担額の責任などの項目について行われました。(二～三面)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行いました。そして、若者の移住促進の取り組み、知事選の適正な執行、被ばく事故を教訓にした安全確保の取り組み、育休代替保育士の確保に向けた取り組み、将来の茨城農業の在り方、道路緊急修繕事業の実施状況、取手市の女子中学生自死に関する市教委との連携などを議論しました。(四～五面)

国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会では、参考人から国体を契機としたスポーツツーリズムの振興を執行部から国体・障害者スポーツ大会を通じた地域振興策などを聴取し、活発な議論を行いました。

環境保全対策調査特別委員会では、調査方針および調査活動計画を決定した後、執行部から環境問題の現状などを聴取し、活発な議論を行いました。

今回の定例会では、条例、人事、諮問、報告、意見書などの十七件の議案が可決、同意、答申、承認されました。



一般質問(要旨)

●質問者

6月9日(金)

鈴木 亮寛 議員  
いばらき自民党

高橋 勝則 議員  
いばらき自民党

先崎 光 議員  
いばらき自民党

6月12日(月)

高崎 進 議員  
公明党

石塚 仁太郎 議員  
いばらき自民党

江尻 加那 議員  
日本共産党

6月13日(火)

志賀 秀之 議員  
いばらき自民党

戸井田 和之 議員  
いばらき自民党

村上 典男 議員  
いばらき自民党



鈴木 亮寛 議員  
いばらき自民党  
つくばみらい市選出  
一括方式

科学技術の振興

議員 世界最先端の科学技術が集積する本県の強みを最大限に生かし、ロボット技術の実用化を次々に生み出していくことで、本県が、日本や世界の発展に貢献できるものと考えるが、知事の所見は。

知事 研究開発から社会実装までの各段階で企業を支援し、ロボットイノベーションを推進していくとともに、県内で進められている最先端の科学技術の実用化に向けた取り組みを促進し、日本や世界の発展に寄与していく。

本県の特性を活かした観光振興

議員 本県でしか体験できないような着地型・体験型旅行プランの造成など、特に宿泊客の誘客が重要と考えるが、今後の取り組みは。

商工労働観光部長 コンクールを開催し、観光資源の発掘および周遊ルートの策定を図るほか、りんりんロードなどを活用した宿泊・体験型ツアーの造成を支援していく。また、着付けや果物狩りなどを活用し、外国人の誘客を図る。(ほかにも、常磐道スマートIC設置への支援、小中学校における歴史教育なども質問)



ロボット実証実験の様子



高橋 勝則 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

県内工業団地の売れ残りの責任

議員 工業団地の売れ残りは非常に多く、県民の大きな負担になっている。知事は任期中いくらの予算を投じ、どれだけ面積を造成し販売できたのか。長年放置されてきた広大な売れ残りへの認識は。

知事 約二千四百億円を投入して約九百三十軒の分譲地を整備し、約五百八十軒を処分してきた。分譲が進まない工業団地については価格の見直しを検討するほか、本県の強みを生かした販売戦略を進め、全力で処分に取り組んでいく。

女沼川の河川整備

議員 女沼川の治水は長年の懸案であり、周辺住民の安心安全な暮らしを守るため国、県、市の緊密な連携による整備が求められるが、現在の進捗状況と今後の見通しは。

土木部長 平成三十年年度完成を目標に国は排水水門の整備を、県は中央排水路交差部の整備を進めているほか、市と小規模橋りょう統廃合の協議を進めている。引き続き国や市と連携し、女沼川の整備に努めていく。(ほかにも、障がい者に配慮した投票環境の改善、国道三五四号バイパス整備なども質問)



女沼川と中央排水路交差部の工事



高崎 進 議員  
公明党  
水戸市選出  
一括方式

新たな結婚支援優待制度の実施

議員 社会全体で結婚を応援する機運醸成や県内経済の活性化につながることから、協賛店舗で料金割引などの優待サービスが受けられる結婚支援の優待カード制度を実施すべきと考えるが、所見は。

知事 今後、他県の実施状況も参考としながら、対象範囲や協賛内容などについて、市町村や、結婚式場、賃貸住宅、家具・家電販売店といった結婚・新生活に関連する事業者などと協議し、優待制度の導入に向けて検討していく。

道路地下の空洞化対策

議員 道路のうち、特に緊急車両が通行する緊急輸送道路について、速やかに道路地下の空洞化対策に取り組むべきと考えるが、所見は。

土木部長 地下構造物の老朽化が進む箇所や土砂流出が起りやすい地盤特性を有する区間などにおいて、空洞探査機による調査も必要と考えており、試験的な調査ができる限り早く実施できるように、検討を進めていく。(ほかにも、アレルギー疾患対策、犬猫殺処分ゼロに向けた取り組みなども質問)



空洞探査機による調査の様子

中高生の英語力の向上

議員 英語力の向上には、ネイティブスピーカーの活用などが有効と考える。将来の茨城を担うグローバル人材の育成のため、中高生の英語力の向上にどう取り組むのか。

教育長 A L T ※を増員し、授業以外でも生徒がA L Tと英語で触れ合う機会を設定している。また、中学校ではタブレットを活用したスピーキングチェックを行うなどにより、英語力の向上を図る。(ほかにも、県西地域のさらなる発展のための交通インフラ整備、さしま茶の振興方策なども質問)



小学校におけるALTを活用した授業の様子

保有土地問題と将来負担額の責任

議員 保有土地対策の前倒しでは、県議会からの提言が軽視され、十分な説明責任が果たされていない。現在も続く県政の大きな課題であるため知事自ら県議会や県民に報告し続けるべきだが、所見は。

知事 保有土地対策については、県議会からの提言を最大限尊重し、保有土地対策の前倒しが他の施策に影響しないよう議会の議決を受けて進めてきた。今後とも保有土地対策の進捗状況を公表し、県民の皆さまに説明していきたい。



先崎 光 議員  
いばらき自民党  
那珂市選出  
分割方式

「山の日」の普及推進

議員 自然保護や産業振興、スポーツ振興など多くの意義を含む山の日の普及推進に積極的に取り組むべきであり、民間団体などの連携体制の整備や森林湖沼環境税の活用が必要と考えるが、所見は。

農林水産部長 民間団体などとの連携については、他県の状況も参考に検討していきたい。また、森林湖沼環境税の適切な活用についても積極的な検討を行い、山の日の普及推進に取り組んでいく。(ほかにも、通学用ヘルメットの普及推進、ヤード条例なども質問)



筑波山における紫峰杉ショートガイドの様子

県住宅供給公社の破産の責任

議員 茨城県住宅供給公社は、平成二十二年九月に、都道府県と政令指定都市で初となる破産に陥った。知事は六百八十億円もの税金を県民に負担させ、不始末の処理をしてきたが、住宅供給公社の破産処理への認識は。

知事 次世代の県民に負担を負わせる形となっていることは、大変申し訳なく思っている。今後、住宅供給公社の破産という経験を生かし、健全な財政構造の確立を進めていきたい。



石塚 仁太郎 議員  
いばらき自民党  
坂東市選出  
一括方式



# 一般質問(要旨)



議員 江尻 加那  
日本共産党  
出水市選出  
一括方式

## 東海第二原発の再稼働と 運転延長

議員 東海第二原発について知事は「あえて廃炉を言う必要もない」と答えたが、安全と引き換えに国の見返りを求める問題ではなく命の問題である。広域避難計画の実効性や事故の被害想定、県民生活への影響などをどう検証するのか。  
知事 実効性を検証するため、十

〇〇二歳児保育所待機児童の解消に向けた取り組み  
議員 待機児童の九割を占める〇二歳児は育休明け年度途中からの入所が必要である。保育の需要予測を行って〇二歳児の保育定員を拡大し、年度途中の入所を保障する支援策を求めるが、所見は、  
知事 受け入れ枠を増やすには、保育士配置数などの基準を満たす必要があるが、保育士の確保自体が困難な地域があるため、本県における年度途中からの入所促進について有効な施策を検討していく。

(ほかに、国保の問題点、教員の勤務時間の実態把握なども質問)  
いばらき 結団・子育てポータルサイト  
0~2歳児の入所を保障するさらなる支援策を



議員 志賀 秀之  
いばらき自民党  
北茨城市選出  
一括方式

## 大好きいばらき県民債の対象事業と 発行総額の柔軟な取り組み

議員 県政参加意識の醸成にもつながら、大好きいばらき県民債の発行再開に向け、具体的な効果が見えやすい事業の選定や発行総額の調整について、柔軟な取り組みが必要と考えるが、所見は。  
総務部長 今後とも、市場の動向を見ながら県民債の発行再開時期や発行総額について検討する。また、子育て支援や無電柱化の推進など、県民の生活に密接に関係し、関心を引きやすい事業への充当などに柔軟かつ積極的に取り組む。

地域包括ケアシステムの推進  
議員 北茨城市のワンストップ相談窓口「元氣ステーション」を例に、地域包括ケアシステム推進のため、市町村をどう支援するのか。  
保健福祉部長 ワンストップ型の相談窓口を設置し複合的な課題を抱える事例に適切に対応している、北茨城市などの事例の情報共有も図りながら、市町村の相談体制の充実に向けた支援を行っていく。

(ほかに、後発医薬品普及へのさらなる取り組み、被災中小企業に対するグループ補助後の支援なども質問)  
県民債を利用して無電柱化の推進を



議員 戸井田 和之  
いばらき自民党  
石岡市選出  
一括方式

## 知事の秘書などの長時間勤務

議員 職員の時間外勤務の縮減に取り組む中、知事の最も身近なスタッフである秘書や運転手は、深夜にまで及ぶ時間外勤務を行っているが、知事の所見は。  
知事 休日や夕方からのさまざまな行事や会合などへ随行してもらうほか、危機管理などにすぐに対応できるよう秘書に身近で待機してもらおうとすることが多く、結果として、時間外勤務が多くなった。今後は、秘書の増員や交代勤務を頻繁に行うなど、改善をしていく。



議員 村上 典男  
いばらき自民党  
笠間市選出  
一括方式

## 県職員の労働環境

議員 知事就任以降の約二十四年間で、知事が所管する知事部局と病院局において、三十一人を超える職員の尊い命が、自殺という不幸な形で失われているが、再発防止に向け、どう取り組んでいくのか。  
知事 職員数に占める自殺者数の割合は、他県などの平均と同程度である。再発防止を図るため、時間外勤務縮減や、職員間のコミュニケーションの活性化、職員のメンタルヘルス対策の取り組みを着実に推進していく。

命をつなぐ臓器移植の取り組み  
議員 臓器移植への理解を深める普及啓発や移植に携わるコーディネーターの組織づくりなど医療機関の体制づくりを充実すべきと考えるが、今後、どう取り組むのか。  
保健福祉部長 若者の学ぶ機会を充実し、広く県民に臓器提供への意思表示を呼び掛けていく。また、脳死下での臓器提供ができる病院を増やせるよう医療者を対象とした移植医療研修会の開催など、病院の体制整備の動機付けに努める。

(ほかに、子どもの読書の大切さ、女性の活躍の推進なども質問)  
移植医療研修会の様子

茨城中央工業団地への企業誘致  
議員 茨城中央工業団地への企業誘致を加速させるには、安価な電力の供給体制の構築を含め、思い切った手だてが必要である。今後の誘致推進に向けた考えは。  
知事 安価な電力の供給体制については、状況に応じ、立地企業とも相談しながら検討したい。また、あらゆる機会に当団地を積極的にアピールするほか、地元と連携し全力で企業誘致に取り組んでいく。

(ほかに、知事の退職手当と多額の責任、子宮頸がん予防ワクチン被害者の救済なども質問)  
茨城中央工業団地(笠間地区)

## 第2回定例会の主な日程

平成29年第2回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 6月6日(火) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 6月9日(金) 本会 議 (一般質問・質疑)
- 12日(月)
- 13日(火)
- 6月15日(木) 常任委員会
- 6月19日(月) 国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会
- 6月20日(火) 環境保全対策調査特別委員会
- 6月21日(水) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

## 質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できます。  
○一括方式 質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める。  
○分割方式 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める。

## 今定例会で可決された議案

- 議員提出
    - 意見書
      - 日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける被ばく事故に係る被害への対応及び原子力安全対策の充実・強化を求める意見書
    - 人事
      - 人事委員会委員の選任について
      - 収用委員会委員の任命について
      - 収用委員会予備委員の任命について
      - その他
        - 県有財産の売却処分について
    - 諮問
      - 地方自治法第二百六条の規定に基づく審査請求に関する諮問について
      - 報告
        - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分に関する条例
  - 条例の一部改正
    - 茨城県海外対象医師修学研修資金貸与条例
    - 茨城県県税条例の一部を改正する条例
- ほか六件

## 可決された意見書

日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける被ばく事故に係る被害への対応及び原子力安全対策の充実・強化を求める意見書



# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

### 若者の移住促進の取り組みは

### 部局横断的に取り組み、SNSも活用していく

**問** 本県へのUIJターンを考える若者の中には、就職や金銭的な将来負担などに不安があり、市町村によってはこうした点に対応した施策を打ち出している。本県でも、部局横断的に移住促進を図るべきだが、所見は。

**答** 東京事務所に設置した「いばらき移住・就職相談センター」では、商工労働観光部が所管する県内の「いばらき地域しごと支援センター」とも連携した相談体制を構築するなど、部局横断的に取り組んでいる。また、市町村が用意する支援制度についても、県の移住ポータルサイトやSNSで広く情報発信していく。

**問** 今年度新たにサイクリングの拠点としてJR土浦駅ビルに設置される「りんりんスクエア土浦」の設計やデザインのコन्セプトは。

**答** 「りんりんスクエア土浦」については、JR東日本などがリニューアルする「ペルチ土浦」と連携するとともに、今後増加が期待される女性サイクリストの意見なども踏まえ、先進性がありスタイリッシュな施設となるよう設計などを進めている。

**問** 知事選では激しい選挙戦が予想されるので、選挙の公平性が確保されるよう職員の指導をしっかりとしてほしい。

**答** 選挙の管理執行は選挙管理委員会の所管だが、選挙が公平かつ適正に執行されるよう、職員の服務規律の徹底を図っていく。

**問** 職員が安心して育児休業を取得できるような環境を、どのように整備しているのか。

**答** 育児休業を取得した職員の後補充を最重要事項として取り組んでいる。四月現在の育児休業取得者八十一名に対し七十六名を補充している。(また、所管事務審査のため副知事に出席を求めるとともに、開発公社理事長を参考人として招致した。)

## 防災環境商工委員会

### 事故を教訓にした安全確保の取り組みは 専門家の意見も聞きながら 再発防止策などを検証する

**問** われわれが専門家であると考えている日本原子力研究開発機構で事故が起きた。このことをしっかりと念頭に置いて、県民の安全確保に取り組むべきだが、今後の対応は。

**答** 県民の安全確保が最優先である。今後、今回の事故に関する事業者の報告を踏まえ、原子力安全対策委員会において専門家の意見も聞きながら、再発防止策などについてしっかりと検証していきたい。

**問** 世界湖沼会議について、来年の本県開催に向け、機運が高まってきた。平成七年にも本県で開催したが、今回の会議のポイントは。

**答** 今回は、人と湖沼の共生をテーマに議論を行う予定である。今回のポイントとして、前回会議以降の本県の成果の発信や水環境保全の重要性の普及啓発、市民、農林漁業者、事業者、研究者や行政などとの連携強化を考えている。

**問** 平成三十一年開催が決定した県北芸術祭について、国体も開催される中での宿泊施設の確保なども含め、県外からの宿泊客の増加に向けてどのように取り組むのか。

**答** 海側と山側を周遊する宿

## 保健福祉委員会

### 育休代替保育士の確保に向けた取り組みは 現場の声を聞き 新たな施策を検討していく

**問** 出産し、育児休暇を取得する保育士の代替を円滑に確保するため、あらかじめ保育人材をプールしておく仕組みを県としてつくるべきと考えますが、所見は。

**答** 代替保育士の確保や、育児休暇からスムーズに復職するための支援などをパッケージにした新たな仕掛けや施策を、現場の声も聞きながら検討していく。

**問** あすなるの郷の建て替え整備とともに、現入所者の地域移行を進めるとしているが、重度の入所者は移行が困難である。その点についてどのように考えるのか。

**答** あすなるの郷入所者の地域移行については重度の方を含めて全員を対象とし、入所者本人とその家族の意向を十分に聞いた上で進めていく。

**問** 医療的ケア児※の家族は日々大変苦労をされており、医療の進歩により医療的ケア児は増えていくと考えられる。そのため、実態を早急に把握し、社会の理解を深め、医療と福祉が連携した支援が必要であるが、県の取り組みは。

**答** 関係機関による協議の場を設け、医療的ケア児の状況



建て替えに向けた議論が進む県立あすなるの郷

の把握や対応を協議するとともに、引き続きレスパイト施設※のさらなる開設を病院関係者などへ働き掛けていく。また、医療計画の見直しと併せて障害児福祉計画に対応策を盛り込むなど、医療と福祉が連携した支援に取り組んでいく。

**問** 県立中央病院における救急患者数が増加する中、新たにドクターカーの出動エリアを拡大したが、どのような体制で救急医療に臨むのか。

**答** 「救急患者は断らない。」を原則としており、五月には新たに救急の非常勤医師一名を確保した。引き続き、医師全員体制により救急医療に対応していく。(ほかに、赤ちゃん緑組、リエゾン※診療なども質問)



都内移住フェアにおける相談会の様子 (茨城移住ナビ <http://iju-ibaraki.jp>)



日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター燃料研究棟 (大洗町成田町)

ことは

※【医療的ケア児】…人工呼吸器や経管栄養といった医療的ケアを日常的に必要としている子どものこと。  
 ※【レスパイト施設】…介護の必要な高齢者や障害者のいる家族へのさまざまな支援を行う施設などのこと。  
 ※【リエゾン】…リエゾン精神医療のことで、病人の不安や苦悩を除くため、色々な診療科の医師と精神科の医師が協力して行う医療のこと。



農林水産委員会

将来の茨城農業の在り方は  
人材育成と基盤整備を一体的に  
進め、成長産業化を図る

問 今後、人口減少や地球温暖化など、社会情勢や環境が変化していく中で、茨城農業はどのような道を進むのか、将来の茨城農業の在り方は。

答 大事なことは、茨城農業の成長産業化と考える。そのため、主体的な経営判断ができる人材育成と生産手段となる基盤整備を一体的に推進し、農家が所得を上げ、それを基に事業を拡大する好循環を目指す。

問 森林湖沼環境税を活用し、間伐による森林整備や県産木材の利用拡大などの素晴らしい実績が挙げられているが、森林の公益的機能の向上をさらに図るための今後の課題は。

答 本県の人工林は、木材として利用可能な森林が約六割を占めている。これらを適切な時期に伐採し、再造林を行い森林の若返りを図るなど、森林資源を循環利用していく必要がある。

問 地域の地産地消を推進する「茨城をたべよう運動」の活動として、過去四回開催してきた「茨城をたべよう収穫祭」の効果は。

答 茨城をたべよう運動推進協議会の会員数は設立当初の



茨城をたべよう収穫祭の様子  
(今年は10月28、29日に土浦市の霞ヶ浦総合公園で開催予定)

二百八十団体から五百五十一団体に増加した。収穫祭には十万人規模の来場者があり多くの方々にPRしてきた結果、認知度も大きく向上した。

問 米の需給調整に向けた本県の平成二十九年産の飼料用米の現在の取り組み状況と、来年度以降の対応は。

答 作付目標を一万二千鈔に設定し、大規模農家への戸別訪問や多収品種の作付推進を行ってきたが、四月末現在八千三百鈔にとどまっている。来年度以降は、生産面では多収品種への転換やさらなる増収の指導、流通面では機械・施設などの整備を支援していく。(ほかに、国営鹿島南部土地改良区事業、環境にやさしいレンコン栽培なども質問)

土木企業委員会

道路緊急修繕事業の  
実施状況は  
六月末までに七割程度を  
執行する

問 第一回定例会で増額修正した道路緊急修繕事業の実施状況は。また、道路除草の対応状況は。

答 舗装維持修繕計画に基づき実施しており、六月末までに七割程度を発注できる見込みである。除草は、労務単価の上昇などにより近年刈り幅や回数減らしているが、必要な箇所は別途実施しているほか、今年度は、道路環境整備事業による縁石周りの土砂や雑草の撤去を実施する。また、道路里親などの協力により、適切な維持管理に努める。

問 上曾トンネル事業が進められるとのことだが、現在の状況とトンネルの整備効果は。

答 石岡市と桜川市では、上曾トンネル整備事業調整協議会を設立した。合併特例債を活用し、来年度事業化に向け準備を進めている。トンネルの整備により、雪などに伴う通行止めの解消やアクセスの向上による時間短縮、地域振興などの効果が見込まれる。

問 河川の防災対策には、市町村への事前の注意喚起や指導が重要と考えるが、所見は。

答 事前の備えは重要であり、県では出水期前の点検結果を



縁石周りの土砂・雑草の撤去

もとにした補修、河道掘削や伐木、水防情報の提供や監視カメラの整備、減災対策協議会を通じた国や市町村との連携などを行っている。今後、事務所などを通じ市町村への細やかな対応をしていきたい。

問 霞ヶ浦浄水場に新しい処理技術を導入する効果は。

答 千ナグ/リを越えるカビ臭でも、管理目標の五ナグ/リ以下に確実に除去できるとともに、発ガン性が疑われるトリハロメタンの生成原因となる溶解性有機物も効果的に除去でき、安定的な処理が可能となる。また、処理費用も大幅に軽減できる。

(ほかに、第二海門橋の整備、つくばりんりんロードの照明なども質問)

文教警察委員会

取手市の女子中学生自死に  
関する市教委との連携は  
県の役割として市への指導助言などを  
しっかりと行っていく

問 平成二十七年十一月、取手市の女子中学生が自ら命を絶つ痛ましい事故があった。この件について県は、市の教育委員会と今後どのように連携を図っていくのか。

答 県は市に対する指導助言が、また、市は県に対する相談や支援の要請が、それぞれできることとされている。そうした県の役割をしっかりと担うとともに、検証を行い、問題点を明確にしていきたい。

問 教員に対する勤務時間実態把握調査の結果を踏まえた、教員の多忙化解消につなげていくための考えは。

答 管理職がリーダーシップを発揮し、日頃から風通しの良い、明るい職場環境を整えること。そして、管理職が教員とコミュニケーションを図りながら、学校全体で組織として対応をすることが大切であると考える。

問 「命の大切さ」や「命をつないでいくことの大切さ」について、小学校の低学年から教えることも必要と考えるが、学校での取り組みは。

答 道徳の時間では、命の受け継ぎやつながりに関する資料を活用し、命について教



ヤードへの立ち入り状況

えている。また、生活科でも、動物の飼育や植物の栽培などを通して、命の大切さに気付くような学習を行っている。

問 本年四月にヤード条例が施行された。七月以降は経過措置の終了に伴い、無届け施設の取り締まりが行われることになるが、対応状況は。

答 現時点で届け出が必要とされるヤードについては、約五十箇所を把握している。これまでにヤードへの立ち入りを行う中で、外国語のパンフレットも活用しながら、届出の必要性を教示してきたが、今後も周知を図っていく。

(ほかに、部活動に伴う教員負担への対応、(仮称)つくば警察署の設置に向けた取り組みなども質問)



# 委員会活動

※「いばキラTV」(<http://ibakira.tv>)で委員会の県内調査の様子を配信しています。

## 総務企画委員会 (鈴木亮寛委員長)

### 地域活性化の取り組みと洋上風力発電所を調査 (5/12)

県立カシマサッカースタジアム (鹿嶋市)

本年、スタジアム北側2階観客席に最新鋭の大型映像装置が増設され、観戦環境が向上したほか、スタジアム内にスポーツクラブ「カシマウェルネスプラザ」を開設するなど、カシマサッカースタジアムを中心とした地域活性化に取り組んでいます。

指定管理者である(株)鹿島アントラーズ・エフ・シーから、スタジアムの概要や地域活性化への取り組みなどについて説明を受けるとともに、スタジアムなどの視察を行いました。



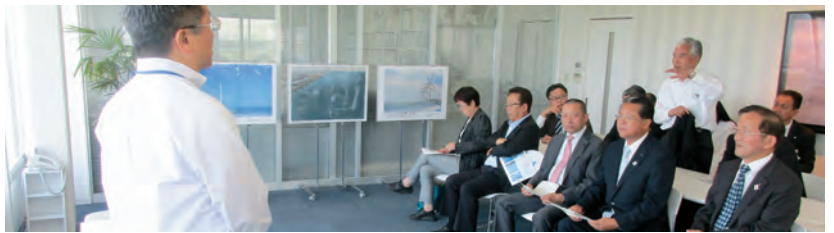
スタジアムを視察する委員の様子

(株)ウィンド・パワー・グループ (神栖市)

(株)ウィンド・パワー・グループは、神栖市で国内初の本格洋上風力発電所を運営しており、鹿島港湾区域内に大規模な洋上風力発電所を建設する計画も進めています。

その先進的かつ革新的な取り組みが評価され、日本式洋上発電所として世界からも注目されています。

同社の概要や今後の展開などについて説明を受けるとともに、洋上風力発電所の視察を行いました。



同社の概要などの説明を受ける委員の様子

## 防災環境商工委員会 (鈴木定幸委員長)

### 先進技術の状況と津波避難タワーを調査 (5/19)

(株)日昌製作所十王工場 (日立市)

地域に根差し、独自の先進技術で自動車用電装部品などを製造している(株)日昌製作所は、平成26年度に、経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選ばれ、ベトナムにも生産拠点を構築しています。

会社の概要や取り組みについて説明を受けた後、工場の様子を視察しました。



同社の概要などの説明を受ける委員の様子

北茨城市津波避難タワー (北茨城市)

北茨城市大津地区の津波避難タワーは、想定される最大の津波にも耐えられるように設計されており、周辺の観光施設利用者や従業員、釣り人などが、一時的に緊急避難する施設として、平成26年に県内で初めて整備されました。

津波避難タワーの概要などについて説明を受けた後、現地調査を実施しました。



津波避難タワーを視察する委員の様子

## 保健福祉委員会 (石塚仁太郎委員長)

### 幼保連携型認定こども園といばらきハサップ認証施設を調査 (5/18)

認定こども園なさき(古河市)

こども園の園庭での園児の様子や、各保育室における保育の状況を視察した後、平成26年4月に幼保連携型の認定こども園としてスタートした施設の概要、園の方針および地域との連携などについて説明を受けるとともに、保育士の確保などについて意見交換を行いました。



保育の状況を視察する委員の様子

(株)モンテール つくば事業所 (坂東市)

竣工から20年を迎えた(株)モンテールの中心工場で、いばらきハサップの認証を受けるとともに、AIB審査(米国製パン研究所が実施している監査)において最優秀賞を獲得した(株)モンテールつくば事業所の概要・沿革について説明を受けた後、工場内の視察を行いました。



事業所の概要などの説明を受ける委員の様子



# 閉会中の

## 農林水産委員会（島田幸三委員長）

### 飼料用米の現状とメロン生産の状況を調査（5/17）

#### 鹿島飼料(株)鹿島工場（神栖市）

鹿島飼料(株)は鹿島地域飼料用米利用推進協議会の会長を務め、配合飼料の原料に飼料用米を積極的に使用するなど、飼料用米の生産と利用の拡大を推進しています。

同協議会の活動や飼料製造における飼料用米の現状などについて説明を受けた後、工場の視察を行いました。



飼料用米の現状などについて説明を受ける委員の様子

#### ほこた農業協同組合（鉾田市）

ほこた農業協同組合では、県オリジナル品種である「イバラキング」など特徴あるメロンを生産し、徹底した品質管理と研究部による技術開発、差別化販売などにより、ブランド力アップを図り、メロン産地の維持・発展に取り組んでいます。

イバラキングの生産、販売などについて説明を受けるとともに、メロン生産ハウスを視察しました。



ハウスを視察する委員の様子

## 土木企業委員会（先崎光委員長）

### 県道桜川土浦潮来自転車道線整備事業と工場立地の現状などを調査(5/11)

#### 県道桜川土浦潮来自転車道線整備事業（土浦市）

桜川土浦潮来自転車道線（通称：つくば霞ヶ浦りんりんロードの一部）は、桜川市内からつくば市、土浦市、かすみがうら市、行方市を経て、潮来市内を結ぶ自転車道です。このうち、土浦土木事務所では、つくば市からかすみがうら市までの約44kmの整備・管理を実施しており、これまでにつくば市から土浦市内の約20kmと、かすみがうら市内の約5kmが供用を開始しています。

今年度は、土浦市湖北地内から田村町地内までの延長約1.0km区間を整備予定であり、自転車道整備事業の概要について土浦土木事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



整備事業の概要について説明を受ける委員の様子

#### 雪印メグミルク(株)阿見工場（阿見町）

同工場は、企業局が造成した阿見東部工業団地に立地し、5月現在で現地採用の契約社員などを含め524名が勤務する国内最大規模の基幹工場です。

同社のプロセスチーズやマーガリン類のほとんどを生産するとともに、阿見総合物流センターを併設することで、原料保管から生産、物流までを一貫して行うことのできる工場の概要について、説明を受けた後、施設の調査を実施しました。



工場を視察する委員の様子

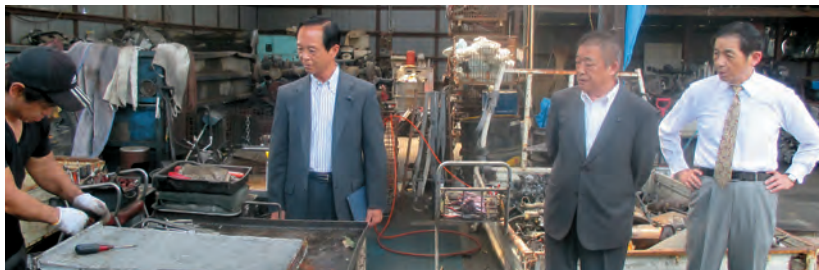
## 文教警察委員会（志賀秀之委員長）

### ヤードの現状と授業におけるICT利活用の進捗状況などを調査（5/22）

#### 境警察署（境町）

境警察署は、坂東市・境町・五霞町を管轄しています。管内のヤード数は、茨城県内にあるヤードの約2割を占めており、平成29年4月にヤード規制条例が施行されたことを受け、積極的な対策を行っています。

同署において、立ち入り調査の実施などのヤード対策の概況などについて説明を受けた後、ヤードの視察を行いました。



ヤードを視察する委員の様子

#### 古河市立古河第五小学校（古河市）

文部科学省から教育ICTモデル校の指定を受け、平成27年度からタブレット端末が児童一人一台体制になるなどの授業におけるICT利活用の進捗状況、効果、課題などについて説明を受けるとともに、授業風景を視察しました。



授業を視察する委員の様子



### 関東甲信越一都九県議会議長会に出席しました

五月十六日、長野県長野市内のホテルにおいて「関東甲信越一都九県議会議長会」が開催され、本県議会から藤島正孝議長および森田悦男副議長が出席しました。会議では各都県が国へ対応を求める要望事項十件を審議しました。本県の藤島議長は、災害対策の充実・強化を求めることについての要望を提言しました。各都県から提出された議案は全て原案どおり可決され、七月開催予定の全国都道府県議会議長会定例総会において、関東甲信越ブロックの議題と



本県の提出議案を説明する藤島正孝議長(左側は森田悦男副議長)

### 県議会主催の講演会を開催しました

六月二十一日、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。講師には、明治大学名誉教授で、アメリカ国家行政院フェローでもある中邨章氏をお招きし、「茨城県議会の政策力を高めるー防災対応からの検討」とのテーマで講話をいただきました。

また、災害発生時の県議会の役割について、県の防災対策に対する県議会のチェックの必要性や、県議会が発信元となつて電子政府への道を進めることへの期待についてのお話があり、大変有意義な講演会となりました。



中邨名誉教授による講演の様子

### 決算特別委員会を設置しました

平成二十八年度茨城県一般会計決算、同特別会計決算および同公営企業会計決算を総合的かつ一体的に審査するため、六月十三日の本会議において、十五名の委員で構成する決算特別委員会を設置しました。選任した委員は次の通りです。

委員長	伊沢 勝徳	委員	村上 典男	委員	水柿 一俊
副委員長	加藤 明良	委員	鈴木 将	委員	飯田 智男
委員	小川 一成	委員	星田 弘司	委員	設楽 詠美子
委員	石田 進	委員	中村 修	委員	八島 功男
委員	戸井田 和之	委員	岡田 拓也	委員	上野 高志

### 出前委員会の開催について

県議会では、開かれた議会を目指し、県議会議事堂以外の場所において農林水産委員会(島田幸三委員長)および防災環境商工委員会(鈴木定幸委員長)を開催いたします。

県政の課題に関する委員会審査の様子を、ぜひ、ご覧ください。

【農林水産委員会】  
日時 平成二十九年十一月十七日(金) 午後一時開会  
場所 県筑西合同庁舎(筑西市)  
内容(予定) 「茨城県農林水産業の成長産業化の着実な推進」

【防災環境商工委員会】  
日時 平成二十九年十一月二十一日(火) 午後一時三十分開会  
場所 潮来市中央公民館(潮来市)  
内容(予定) 「魅力ある観光産業の振興」

※傍聴を希望される方は、県議会事務局議事課までお申し込みください。  
電話 029-301-5634

## お知らせ

今回の、平成29年第3回定例会は、10月3日から30日までの28日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
10.3	火	議会運営委員会、本会議(開会、知事提出議案説明)
4	水	休会(議案調査)
5	木	休会(議案調査)
6	金	議会運営委員会、本会議(代表質問・質疑)
7	土	
8	日	
9	月	(体育の日)
10	火	本会議(代表質問・質疑)
11	水	議会運営委員会、本会議(一般質問・質疑)
12	木	本会議(一般質問・質疑)
13	金	本会議(一般質問・質疑)
14	土	
15	日	
16	月	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
17	火	休会(委員会審査準備)
18	水	休会(常任委員会)
19	木	休会(常任委員会)
20	金	議会運営委員会 本会議(予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
21	土	
22	日	
23	月	休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
24	火	休会(環境保全対策調査特別委員会)
25	水	休会(予算特別委員会)
26	木	休会(決算特別委員会)
27	金	休会(議事整理)
28	土	
29	日	
30	月	議会運営委員会、本会議(委員長報告、採決、閉会)

## 議会中継のリニューアルについて

茨城県議会では、県民の方々に議会を身近に感じていただき、より関心を持っていただくために、平成13年から議会のホームページ上で本会議などのインターネット中継を行っています。

今般、この議会中継をリニューアルし、6月(平成29年第2回定例会)から、普及が進むスマートフォンやタブレットなどでも視聴できるようになりました。

また、中継内容をさらにご理解いただけるよう、中継画面の横に、会議名や議員名、質問項目などを表示(画像1)しますとともに、「会議名」、「議員名」、「会派名」や質問項目などの「用語」により映像を探すことのできる検索機能を追加(画像2)しております。

以前よりも視聴しやすくなっておりますので、ぜひ、この機会にご覧ください。



画像1 中継画面



画像2 検索画面

## 県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、ぜひお越しください。

また、児童および乳幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧ください。

なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声をお掛けください。

その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会事務局議事課にお問い合わせください。

お問い合わせ先

電話 029-301-5634

いばらき県議会だより第百九十九号掲載記事の訂正について  
平成二十九年四月三十日発行のいばらき県議会だより第百九十九号七面に掲載しました、予算特別委員会における石井那一委員の質疑に対する答弁者に誤りがありました。お詫びして、次のように訂正いたします。  
(誤) 知事  
(正) 土木部長